

別記様式（第 14 条関係）

附属機関等会議録

令和 3 年 11 月 16 日

会 議 の 名 称	令和 3 年度 第 45 回 島田市 諏訪原城跡整備委員会
開 催 日 時	令和 3 年 11 月 9 日 (火曜日) 13 時 45 分から 16 時 00 分まで
開 催 場 所	島田市博物館工作室、諏訪原城跡
会 議 の 議 題	《報告事項》 ● 令和 3 年度 諏訪原城跡整備事業進捗状況について ● 諏訪原城跡案内パンフレットの改訂について 《協議事項》 ● 令和 4 年度 園路舗装整備について 《現地視察》 ● 二の曲輪北馬出、クラウドファンディング環境整備箇所、大手曲輪等
会議の公開又は全部若しくは一部の非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 非公開（ <input type="checkbox"/> 全部 ・ <input type="checkbox"/> 一部 ）
会議の全部又は一部の非公開の理由	
公開の場合の傍聴人の数	なし
出席者の氏名等	整備委員：小和田委員長、三浦副委員長、高瀬委員、中井委員、加藤委員、中野教育部長 アドバイザー：武田主査（県文化財課） 事務局：又平課長、和田課長補佐、萩原主任学芸員、渡邊技師、坂巻学芸員、杉本会計年度任用職員
会 議 の 結 果	《報告事項》 令和 3 年度 諏訪原城跡整備事業進捗状況について 博物館課事業について、下記のとおり報告を行った。 1. 史跡整備関係について (1) 諏訪原城跡史跡整備事業・・・二の曲輪北馬出の土塁等の史跡整備工事として復元した城門の西側の土塁及び土塁上工作物の設置。二の曲輪北外堀及び南外堀の測量。 (2) 諏訪原城跡パンフレット 10,000 枚増刷。続日本百名城の文言、今川の家紋、QRコードを追加。 2. 教育普及関係について (1) 整備委員の先生による諏訪原城講演会として、11 月 20 日に小和田哲男先生による「諏訪原城を駆け抜けた武将たち～武田家臣団 VS 徳川家臣団」と題して、金谷公民館みんくるにて開催予定。応募は 120 人を超え、抽選の結果、84 人が参加する予定。 (2) 諏訪原城ビジターセンターでの展示コーナーの活用 (3) 諏訪原城に関する中・高等学校、ライオンズクラブへの出前授業や高等学校の社会科見学の対応。

	<p>3. その他（環境整備事業）</p> <p>(1) NPO法人里山仕事しょんた塾による曲輪等平坦地の枯木及び倒木の整理</p> <p>(2) 金谷退職者福祉共催会等の市内団体による二の曲輪等の除草作業。11月13日に34名参加の除草作業。</p> <p>(3) 大手曲輪の茶畑の後継者不足による今後の管理と整備について</p> <p>4. 諏訪原城の活用・プロモーションについて（文化資源活用課等による活用事業）</p> <p>(1) 諏訪原城応援隊による諏訪原城イベント。89人が参加する予定。（11月21日）</p> <p>(2) 横浜市で開催のお城エキスポに参加（12月17日～19日）</p> <p>(3) 環境整備のクラウドファンディングの実施（8月1日～9月30日 267件(226人)から約156万円の寄付があった。本曲輪東斜面の支障木、立ち枯れの伐採を11月1日から実施。</p> <p>(4) JR東海主催 TOICA de ウォーキング（11月6, 7日） 両日合わせて約750人の参加者。</p> <p>（質疑応答）</p> <p>委員長から、茶園管理の問題点について質問があった。 事務局より、茶園は後継者不足であることを伝えた。また、保存管理区域の為、地形を改変する改植は行わないで欲しいという要望を地権者にしている事や、今後地権者へ意向調査をする予定であることを報告した。</p> <p>《協議事項》</p> <p>令和4年度園路舗装整備について 北馬出、中馬出の園路整備に関して、令和4年度は北より70m、令和5年度は残り70mを島田市の予算に合わせて整備する。舗装幅は1m、門の前のコンクリートと同色で整備予定。</p> <p>《現地視察》</p> <p>二の曲輪北馬出の今年度実施する整備箇所、クラウドファンディング環境整備箇所、大手曲輪、ロータリークラブ寄贈の看板設置箇所を現地確認した。</p>
提出された資料等	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和3年度諏訪原城跡整備事業の進捗状況について ● 二の曲輪北馬出史跡園路整備平面図 ● 工作物設置工平面図
会議を所管する課の名称	島田市教育委員会博物館課
その他必要な事項	